

凝ったFlashもお手軽ムービーもドラッグ&ドロップで簡単作成

FlashMaker 2 for Windows

株式会社イフォー <http://www.ifour.co.jp/product/flashmaker2/>

マクロメディアが開発したFlashは、今やウェブページのメニューやバナー、動きのあるコンテンツ作りには欠かせない存在だ。しかし、思い描いたとおり動くアニメーションやインタラクティブな操作を加えたムービーを作ろうとすると初心者には難解なスクリプトが必要で、それがある種の壁となっていた。

そこに登場したのが、2003年6月に発売された「FlashMaker」だ。スクリプトなしで誰でも簡単にFlashムービーを作れると人気を呼び、全国主要販売店の販売実数をもとにパソコン関連商品の売り上げ分析を行っているBCNの調査で、Flashムービー作成ソフトの販売本数ナンバーワンを記録したという。

今回紹介する「FlashMaker 2」はその新バージョンで、以前よりも作成の自由度がアップしたのが特徴だ。FlashMakerに限らず操作が容易なツールの場合、動きや動作が一辺倒になりがちだが、FlashMaker 2は、スクリプトを使わないにもかかわらず自由度の高いムービーを

作ることができ、さらに表現力が高くなっている。

クリックとドラッグ&ドロップで大半の機能を実行

FlashMaker 2の画面上部にあるツールバーには、よく使う機能がボタンとして配置されている。[新規作成] [ファイルを開く] [コピー] [ペースト] [アニメーション設定] [プロパティ] など、Flash制作中に必要となる大半の操作はこのボタンをクリックするだけで実行できる。

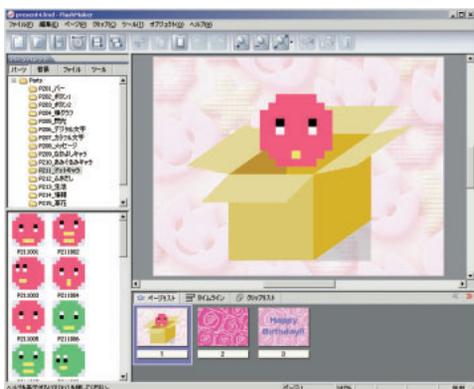
画面左はパーツパレットだ。[パーツ] と [背景] には、FlashMaker 2に収録されている画像素材が登録されていて、パレット上半分に画像を種類別に分類したフォルダーが、下半分にはフォルダー内にある画像のサムネイルが表示される。ムービー中に素材を配置するには、適当な画像を選んで画面右の編集ウィンドウにドラッグすればいい。オリジナルの画像を使うときは、パーツパレットの[ファ

イル]を選んで、画像ファイルのある場所を指定する。

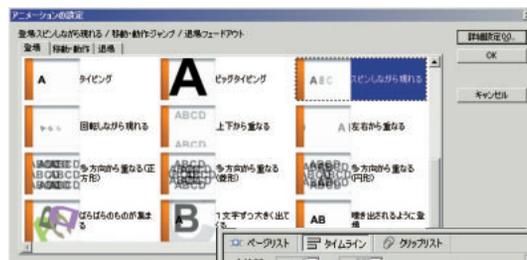
FlashMaker 2は、楕円、四角形、直線、曲線といった単純な図形の描画機能も備えている。これらの図形を描くには、パーツパレットの[ツール]をクリックしてツールボタンを表示させ、適当なボタンを選べばいい。また、ムービー中にテキストを挿入するときは、ツールボタンの[A]を選択する。

ムービー中に登場する画像や図形、テキストなどは総称して「オブジェクト」と呼ばれる。編集ウィンドウに配置したオブジェクトのプロパティを変更し、アニメーションやリンクを設定していけば、ムービーが完成していく。

1本のムービーは多くのオブジェクトで構成される。だが、ふつうはすべてのオブジェクトが一度に登場するわけではなく、ムービーをいくつかのブロックに分割できるはずだ。FlashMaker 2では、そのように分割した個々のブロックを「ページ」と呼ぶ。ムービーを複数のページに



ツールバー、パーツパレット、編集ウィンドウ、ドキュメント情報ウィンドウで構成されるFlashMaker 2。パーツパレットから編集ウィンドウにドラッグするだけで、画像がムービーに配置される。



編集ウィンドウでオブジェクトを選択して[アニメーション設定]ボタンをクリックすると、[アニメーションの設定]ダイアログが開く(上図)。[登場] [移動] [退場]の3つのタブで動きを選択するだけで、アニメーションの設定は完了だ。アニメーションの[登場] [移動] [退場]は、ドキュメント情報ウィンドウで色分け表示される(下図)。それぞれのバーをドラッグするだけで、表示時間やタイミングを調整できる。

分割することにより、作成の作業も作成後の手直しもかなりやりやすくなる。

アニメーションの設定や変更はすべてマウス操作だけで完了

編集ウィンドウの下にある部分[ドキュメント情報ウィンドウ]と呼ばれ、ムービーの概要がグラフィックでわかりやすく表示される。

まず、左端の[ページリスト]をクリックすると、ムービーを構成するページが一覧表示される。それぞれ特徴的な場面がサムネイルで表示されるので、どの場面のページかは一目瞭然だ。[タイムライン]をクリックすると、選択しているページを構成するオブジェクトと、そのオブジェクトの表示時間がバーで表示される。

FlashMaker 2ではアニメーションの設定も簡単だ。アニメーションは、オブジェクトの「登場」「移動・動作」「退場」の3つのパートで構成される。編集ウィンドウ上でオブジェクトをクリックして、ツールバー右から2番目の[アニメーション設定]ボタンをクリックすると、[アニメーションの設定]ダイアログが表示される。アニメーションの設定は、このダイアログで3つのパートそれぞれの動きを、あらかじめ

用意されたパターンから選ぶだけだ。

さらに、[移動・動作]では、オブジェクトをマウスでドラッグした動きをそのまま記録して再現することも可能だ。移動前と移動後のオブジェクトのサイズを変更することもできる。

タイムライン上、登場、移動・動作、退場のパートは、それぞれ「オレンジ」「緑」「グレー」で色分け表示される。これらのバーをドラッグすれば、アニメーションの表示時間や登場、移動・動作、退場のタイミングや時間を変更することもできる。こうしたタイミングや時間は、数値を入力して正確に設定することも可能だ。

ウィザード機能を利用してお手軽にムービーを作成

アニメーションに凝ったものではなく簡単なムービーを作りたい人には、ウィザードが便利だろう。ツールバーの[新規ファイル]ボタンをクリックすると[新規作成ウィザード]が表示される。ここには、[空のドキュメント]のほか[デジカメアルバム] [ホームページバナー] [ホームページメニュー]の3つのテンプレートが表示される。

FlashMaker 2の操作がいくら簡単と

製品名	FlashMaker 2 for Windows
会社名	株式会社アイフォー
価格	13,440円(税込)
動作環境	OS: ウィンドウズXP/Me/98/2000各日本語版、ハードディスク: 150Mバイト以上の空き容量、対応ファイル形式: 画像/BMP、DIB、JPG、PNG、TIF、GIF、WMF、音声/WAV、MP3

はいつでも、ムービーを一から作るのは大変だ。特に最初のうちは、作業の流れやコツをつかむためにも、用意されているテンプレートを使ってみるのがいい。テンプレートを利用すれば、最低限の情報を入力するだけで、ムービーの大枠が完成する。

新バージョンに加わった機能のなかで、重宝するのが「ムービークリップ」機能だ。作成したムービーは、FlashMaker形式のファイルのほか、クリップファイルとして保存することもできる。クリップはムービー中でオブジェクトとして扱われるので、この機能を利用すれば複雑なアニメーションを比較的楽に作ることができるのだ。

ウェブサイトにもうひと工夫を加えたい。プログラミングの知識や経験はないが、ダイナミックでインタラクティブなウェブコンテンツを作りたい。FlashMaker 2は、そんなユーザーに気軽にすすめられる1本だ。(藪 暁彦)



[プロパティ] ボタンをクリックすると、選択したオブジェクトのプロパティが表示される。ここでオブジェクトの設定確認や変更を行う。これはテキストのプロパティ。



[ムービープレビュー] ボタンをクリックするとムービー全体を、[ページプレビュー] ボタンをクリックすると選択したページのプレビューを表示できる。1コマごとの再生も可能だ。



[新規ファイル] ボタンをクリックすると表示される[新規作成ウィザード]ダイアログ。[デジカメアルバム] [ホームページバナー] [ホームページメニュー]のいずれかのテンプレートを選べば、実に簡単にムービーが作れる。

自分のパソコンでブログやBBSをカンタン開設!

YourServer

九州計装  <http://www.server.co.jp/>

YourServerはウィンドウズが動作しているパソコンを、簡単にサーバーとしてインターネット上に公開できるサービスだ。サーバーにしたいパソコン上で「YourServer.exe」という接続用プログラムを実行すると、インターネット上にある開発元の九州計装が運営するYourServerのサービスサーバーと連携して自分のパソコンがインターネットに公開される。

自分のパソコンを安全に公開可能
ファイアウォールの中からもOK

YourServerにはいくつか機能があるが、基本となるのは自分のパソコンをウェブサーバーにすることだ。

YourServerサービスでは、サービス利用者が取得したオーナーIDが含まれる、「[オーナーID].server.co.jp/」というドメインが用意される。

閲覧者がインターネットから「http://[オ

ナーID].server.co.jp/」にアクセスすると、その要求はYourServerのサービスサーバーを経由して、YourServer.exeが実行されているパソコンに転送される仕組みになっている。つまり、自分のパソコン上でインターネットに公開するデータは、すべてサービスサーバーを通る。

また、閲覧者側からは、サーバーになったパソコンには直接接続することはできず、あくまでもサービスサーバー経由で転送されてくるデータしか見ることができない。このため、サーバー化したパソコンが直接閲覧者と接続されることがなく、IPアドレスが漏洩して攻撃を受けるといった心配もない。

また、自分のパソコンとサービスサーバーの接続は、TCP/IPの80番ポートだけを利用している。80番ポートはウェブの閲覧などで一般的に使用されるポートのため、ファイアウォールやNATなどの制限された環境でも、自分のパソコンをサーバーとして公開できる。

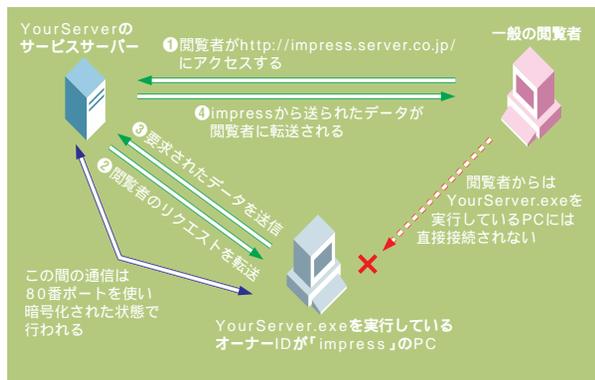
追加機能はすべてモジュール化
ユーザー管理機能も搭載

YourServerに用意されている機能は、原稿執筆時点で「掲示板」「アルバム」「ファイル共有」「リモート操作」「CGI PROXY」の5つ。これらの機能はすべてモジュール化されており、メインメニューから自分が必要と思うものだけを選択できる。

モジュールによっては、同じモジュールを複数インストールすることもできる。たとえば掲示板モジュールを3つインストールすれば、それぞれ別の掲示板が3つできるといった具合だ。

提供されるモジュールは今後も増える予定で、「ブログ」機能やストリーミングが可能な「MP3プレーヤー」などが加わるという。

YourServerサービスには、ユーザー管理機能も付いており、必要があれば特定のユーザーにだけ特定のモジュールの利



YourServerサービスの、ネットワーク概念図。閲覧者からユーザーのPCを直接見ることはできない。

YourServer.exeを実行し、「公開」ボタンをクリックすると、サーバーとして公開される。モジュールは必要に応じてダウンロードする。標準では、起動時にサービスダウンロードリストが表示され、最新版の有無を確認できる。

用権限を与えるように設定することもできる。

また「CGI PROXY」モジュールを使えば、自分のパソコンにインストールしたApacheなどのウェブサーバーとYourServerを連携でき、汎用のウェブサーバーとして使える。

インターネット経由でファイル共有 リモートデスクトップで遠隔操作も

ファイル共有モジュールを有効にすると、インターネット上でファイル共有ができるようになる。自分のパソコンをサーバー化しているのだから、自分のパソコンのハードディスクの空き容量を一杯使えるので、大きなファイルのやりとりが便利だ。ファイル共有モジュールは、「WebDAV」というウェブ上でのファイル共有を可能にするプロトコルをサポートしているため、ウィンドウズのウェブフォルダーから操作できる。

また、リモート操作モジュールを使うと、他のコンピュータからログインして、サーバー化したマシンのデスクトップを遠隔操作できる。これには専用のクライアントソフトのほかに、Javaに対応した

ウェブブラウザからも利用できる。将来的にはウィンドウズXPのリモートデスクトップにも対応する予定だ。

個人でもビジネスでも利用できる 手軽に各種サーバーを実現する

YourServerサービスは、パーソナル版とビジネス版の2つのバージョンが提供される。両者は機能的にはまったく同じだが、目的が異なる。

パーソナル版は、不特定多数の人に対してウェブサーバーとして公開することを想定したものだ。

「http://[オーナーID].server.co.jp/」にアクセスしたときに最初に表示されるトップページには、掲示板やアルバムなどのモジュールによるページへのリンクが表示される。このためアクセス制限をしていない限り、通常の掲示板やアルバムなどは誰でも閲覧や投稿ができる。また、YourServerの製品情報ページには、その時点で公開されているサーバーへのリンクが表示される。

これに対してビジネス版は、限られたユーザーでの利用を想定したもので、公開するトップページにはログインフォーム

製品名	YourServer
会社名	株式会社九州計装
価格(税込)	パーソナル版、ビジネス版ともに月額1,000円
決済方法	クレジットカード、コンビニ決済、銀行振込み
動作環境	ウィンドウズ98SE/Me/2000XP
対応ブラウザ	インターネットエクスプローラバージョン5以上

のみが用意され、最初にログインしないとコンテンツが見られない。YourServerのサイトにも、リンクが表示されないようになっている。

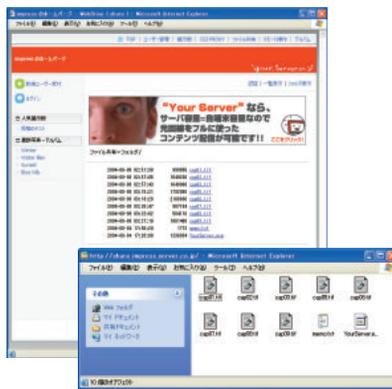
YourServerサービスの最大の特徴は、簡単に自分のパソコンをサーバー化できて、しかもファイアウォールやNAT環境下でも動作するという点にある。いままですらルーターやウェブサーバーの設定の難しさのせいで自宅サーバーの公開を諦めていた人には、待望のサービスと言えるだろう。(大澤文孝)



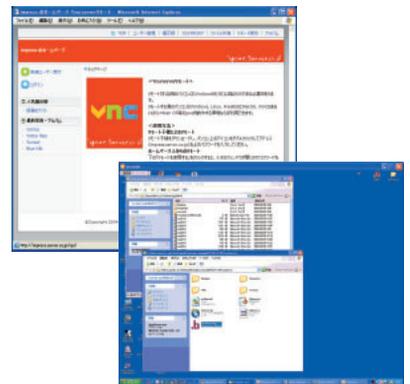
アルバム機能では、サムネイル表示するだけでなく、画像にコメントを付けることもできる。アルバム画像は、ウェブからのアップロードもできる(1画像当たり最大2Mバイトまで)。



ユーザー管理機能を使って、どのユーザーにどのような操作を許すのかを設定できる。



共有ファイルのダウンロードは、ウェブページから行える。アップロードするときはFTPではなく、ウィンドウズのウェブフォルダー機能を利用する。



リモート接続はVNCという一般的なデスクトップのリモート操作ソフトを利用しており、専用のクライアントツールやJava対応のブラウザから利用できる。



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp